

Kansai Economic Insight Monthly

2014/4/22

Vol.12 March/April

・APIR “Kansai Economic Insight Monthly” は、関西経済とそれに関連する中国経済の動向に関する分析レポートです。

・本レポートの内容は、公益社団法人関西経済連合会『関西経済レポート』と連携しています。

・レポート公開時期は毎月第二週金曜日を予定しています。

・執筆者は、稲田義久（甲南大学教授、APIR 研究統括）、岡野光洋・林万平・木下祐輔（各 APIR 研究員）です。

・本編内の中国景気モニターは、APIR 中国経済分析のプロジェクトによるものであり、関西経済分析と連動して定期的に発信します。

・本レポートにおける「関西」は、原則として滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県の2府4県です。統計出所を発表している省庁などが「近畿」としている場合も「関西」に統一しています。

目次

要旨	1
景気の現況	2
中国景気モニター	7
主要月次統計	10
Release Calendar	11

要 旨

- ✓ 2月関西の鉱工業生産は前月比-1.1%と3カ月ぶりの下落も、1-2月平均は10-12月平均比+1.8%と増産傾向が続いている。
- ✓ 3月の関西の輸出額は前年比13カ月連続のプラスとなったものの、前月の2桁から1桁の伸びに減速した。輸入も15カ月連続で増加。結果、貿易収支は2カ月ぶりの赤字となった。
- ✓ 3月の関西の景気ウォッチャー現状判断DIは駆け込み需要増を反映し2カ月連続の改善。一方、消費増税後の懸念が広がり、同先行き判断DIは4カ月連続の悪化。同月の消費者態度指数も4カ月連続で悪化している。
- ✓ 1月の「関西コア」賃金指数は10カ月連続の前年比マイナス。一方2月の全国の現金給与総額は同横ばいとなった。
- ✓ 関西2月の大型小売店販売額は7カ月連続の前年比プラス。百貨店も7カ月連続のプラス。小売販売は緩やかな改善が続く。
- ✓ 関西2月の新設住宅着工戸数は6カ月ぶりの前年比マイナス。駆け込み需要の反動が本格化している。
- ✓ 2月関西の有効求人倍率は1.00倍、5カ月連続して前月から改善。失業率は4.1%となり、前月と横ばいで推移。
- ✓ 2月関西の建設工事は前年比22カ月連続のプラス。伸びは依然2桁を維持しているものの、3カ月連続で減速している。
- ✓ 3月関西の公共工事請負金額は前年比2カ月ぶりのプラスとなったが、前月比では3カ月連続のマイナス。結果、1-3月期は前期比-17.3%の大幅減となった。
- ✓ 2014年1-3月期中国の実質GDP成長率は前年同期比+7.4%となり、前期から幾分減速した。成長率は8期連続で8%を下回っている。

【鉱工業生産動向】

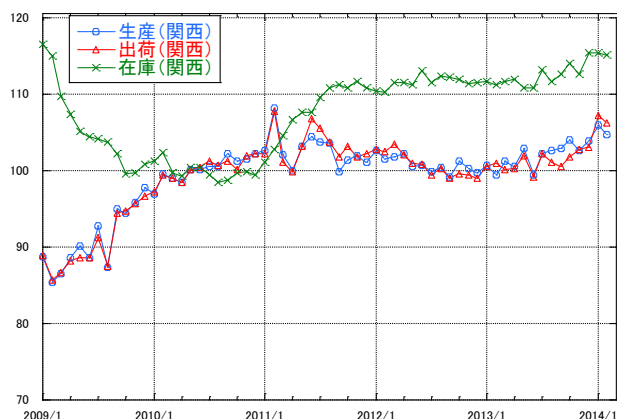
(1) 関西の生産動向

2月の鉱工業指数（速報値：季節調整済）を見ると、生産は104.8で前月比-1.1%と3カ月ぶりの下落。出荷は106.3で同-0.8%と5カ月ぶりの下落。在庫は115.1で同-0.3%と3カ月ぶりの下落となっている。

業種別に生産指数をみると、はん用・生産用・業務用機械（同-3.1%）、金属製品（同-7.5%）、情報通信機械（同-14.9%）等が低下した。一方、化学（除 医薬品）（同+2.7%）、窯業・土石製品（同+3.8%）、プラスチック製品（同+4.0%）等が上昇した。

足下、2月は減産となったものの、1-2月平均は10-12月平均比+1.8%と増産傾向が続いている。

鉱工業指数の推移（関西：2014年2月まで、平成22年=100）

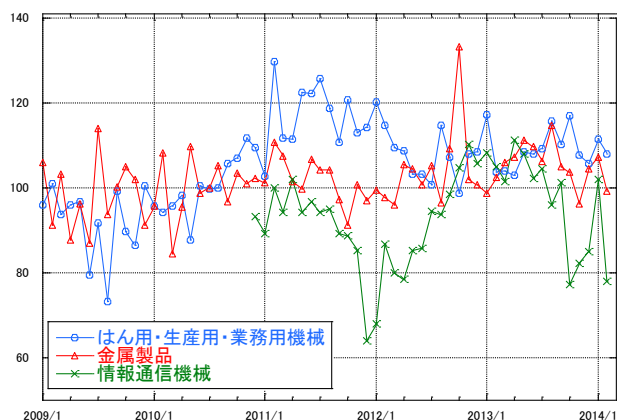


（注）福井県を含む。

（出所）「近畿経済の動向」、近畿経済産業局

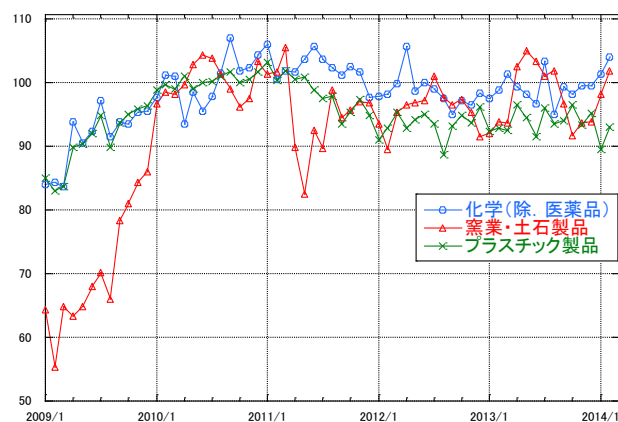
業種別生産指数の推移（関西：2014年2月まで、平成22年=100）

（注）福井県を含む。



（出所）「近畿経済の動向」、近畿経済産業局

業種別生産指数の推移（続き）



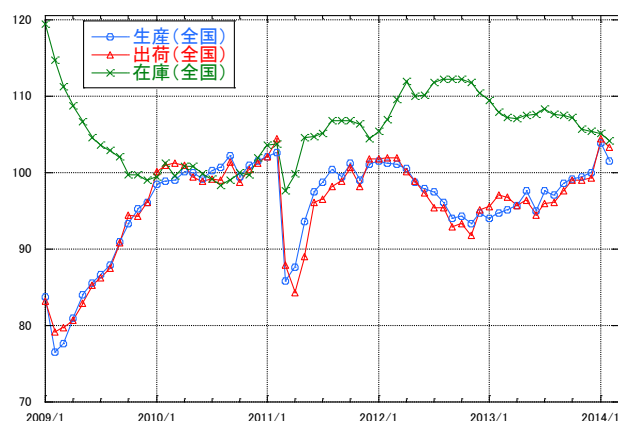
関西主要業種の生産指数におけるウェイトの変化

(2) 全国の生産動向

全国における2月の鉱工業生産指数（速報値、季節調整済）は101.5となり前月比-2.3%と6カ月ぶりの下落。出荷は103.4で同-1.0%と8カ月ぶりの下落。在庫は104.2で同-0.9%と7カ月連続の低下となった。

業種別にみると、輸送機械（同-5.8%）、はん用・生産用・業務用機械（同-2.6%）、情報通信機械（同-10.1%）等を中心に減産となった。一方、電子部品・デバイス（同+3.7%）、繊維（同+2.0%）、化学（同+0.2%）等は増産。

鉱工業指数の推移（全国：2014年2月まで、平成22年=100）



（出所）「鉱工業指数」、経済産業省

【貿易動向】

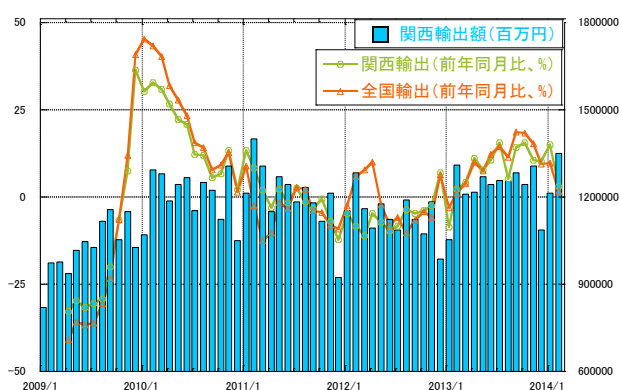
(1) 輸出

近畿圏における3月の輸出額(速報値)は1兆3,519億円、前年同月比+3.1%と13カ月連続の増加。対米ドルの税関長公示レートが月平均で前年同月比8.7%の円安であったことを考えても、輸出の伸びは弱い動きとなった。輸出増加に主に貢献したのは、鉱物性燃料(単月過去最高額)、鉄鋼、重電機器(過去最高額)であったが、建設用・鉱山用機械、原動機、ガラス及び同製品は減少した。

地域別では、アジア(前年同月比+3.6%)、EU(同+0.8%)向け輸出は13カ月、10カ月連続でそれぞれ前年から増加したものの、米国(同-0.4%)向けは13カ月ぶりの同マイナスとなった。対アジア向けの輸出の減速が目立つが、特に中国(同-1.2%)向けが13カ月ぶりのマイナスが影響している。

地域別輸出額(前年同月比)を品目別に見ると、寄与度ベースでは、アジア向けでは、鉱物性燃料(前年比+38.0%)、重電機器(同+38.2%)等が輸出増に貢献した。うち、中国向けを見ても、半導体等電子部品(同-12.5%)、鉱物性燃料(同-71.1%)等を中心に輸出が減少した。米国向けでは、建設用・鉱山用機械(同-38.6%)、半導体等製造装置(同-45.0%)等の輸出が減少した。また、EU向けでは、プラスチック(同+28.6%)、鉄鋼(同+46.2%)等が輸出増に貢献した。

輸出(右、百万円)・前年同月比(左、%)推移(2014年3月まで)



(出所)「大阪税関貿易速報資料：近畿圏」、大阪税関調査統計課

全国3月の輸出額(速報値)は6兆3,826億円、前年同月比+1.8%と13カ月連続の増加も、伸び率は前月(同+9.8%)から大幅減速となった。輸出増には、自動車、鉱物性燃料、鉄

鋼等が貢献したものの、船舶、非鉄金属等は減少した。関西、全国共に輸出の伸びは前月から大きく減速。

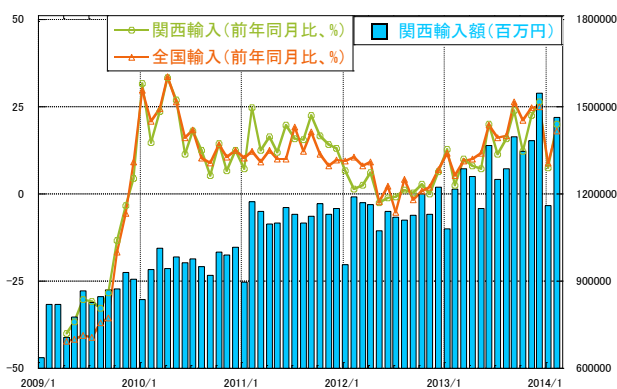
(2) 輸入

近畿圏における3月の輸入額(速報値)は1兆4,625億円、前年同月比+20.0%と15カ月連続のプラス。前月の1桁から、再び2桁の伸び率へと拡大した。天然ガス及び製造ガス、通信機、原油及び粗油等を中心に、輸入は増加している。なお、これらはいずれも単月で過去最高の輸入額となった。

地域別では、アジア(前年同月比+21.0%)、中国(同+22.0%)、米国(同+34.0%)、EU(同+19.9%)からの輸入はいずれも増加した。特に、中国からの輸入は前月のマイナスの伸び率からプラスへと転じた。

地域別輸入額(前年同月比)を品目別に見ると、寄与度ベースでは、アジアからは、通信機器(同+42.8%)、原油及び粗油(同+166.1%)等の寄与が大きい。うち中国からは、通信機(同+58.2%)、半導体等電子部品(同+94.1%)等の輸入増が大きい。米国からは、医薬品(同+99.2%)、無機化合物(同+168.9%)等、EUからは、医薬品(同+13.4%)、科学光学機器(同+23.4%)等が輸入増に貢献している。

輸入(右、100万円)・前年同月比(左、%)推移(2014年3月まで)



(出所)「財務省貿易統計」、財務省

全国の3月の輸入額(速報値)は7兆8,289億円、前年同月比+18.1%と17カ月連続の増加。輸入増加には、原油、液化天然ガス、半導体等電子部品が大きく寄与した。関西、全国共に輸入は前月から大幅に拡大。

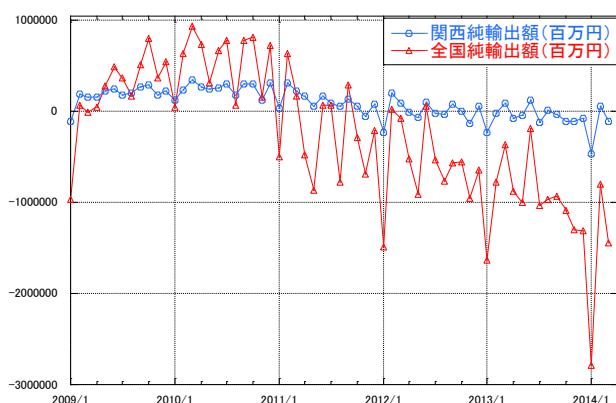
(3) 純輸出

結果、近畿圏3月の純輸出額は-1,106億円と2カ月ぶりの赤字となった。

地域別に見ると、対アジア貿易収支は2カ月連続の黒字となった(前年同月比-64.7%)。対中貿易は25カ月連続の赤字だが、赤字幅は2カ月ぶりに拡大(同+115.3%)した。対米貿易は黒字基調が続いているが、黒字幅は6カ月ぶりの減少(同-32.2%)。対EU貿易は12カ月連続の赤字。

全国3月の純輸出額は-1兆4,463億円と21カ月連続の赤字となった。赤字幅は9カ月連続で拡大している(前年同月比+305.2%)。貿易収支は、3月は関西、全国共に赤字だが、全国状況は依然厳しい。

純輸出(百万円)推移(2014年3月まで)



(出所)「大阪税関貿易速報資料：近畿圏」、大阪税関調査統計課

【消費者センチメント】

(1) 消費者態度指数の動向

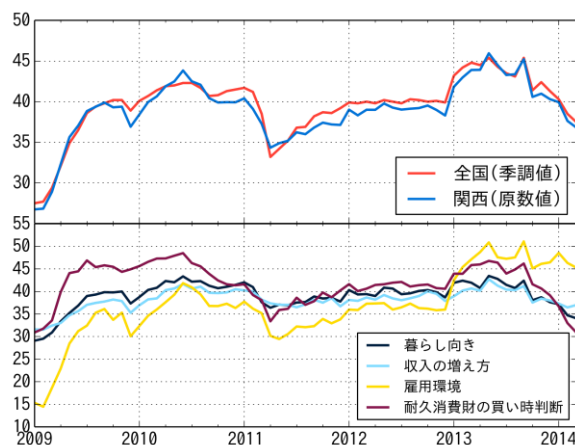
関西の3月の消費者態度指数(原数値)は前月比-0.8ポイント下落し36.9となった。4カ月連続のマイナス。2011年9月に以来の低水準となった。

同指数の構成項目を見ると、「暮らし向き」が同-0.6ポイントと4カ月連続のマイナス。「耐久消費財の買い時判断」は同-2.1と5カ月連続のマイナス、「雇用環境」は同-1.0ポイントと2カ月連続のマイナスだが、「収入の増え方」が同+0.5と4カ月ぶりにプラスに転じた。

2011年9月と比較すると、今回は景気回復もあり、雇用環境指標が高いが、消費税増税の懸念から耐久消費財の買い時判断指標が低いことが特徴である。

なお全国の2月の消費者態度指数(季節調整値)は37.5となり、同-1.0ポイントと4カ月連続で前月から悪化している。

消費者態度指数(2014年3月まで)



	2011/09	2014/03
関西	36.8	36.8
暮らし向き	38.9	34.1
収入の増え方	38.2	37
雇用環境	32.3	45.3
耐久消費財の買い時判断	37.9	30.9

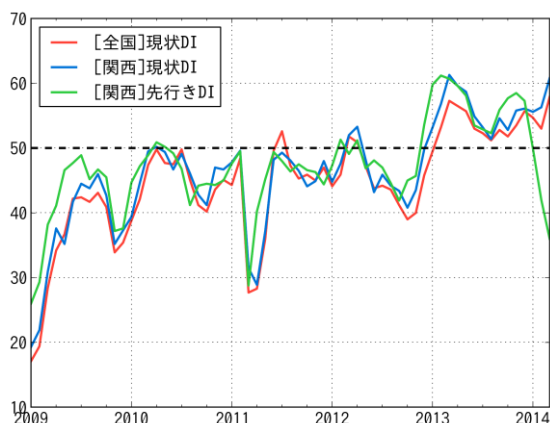
(出所) 内閣府「消費動向調査」(平成26年4月17日公表)

(2) 景気ウォッチャー指数の動向

関西の3月の現状判断DIは前月比+4.5ポイントの60.8。乗用車の駆け込み需要が一服しつつあるものの、その他の品目についても駆け込みの動きが広がっていることから、2カ月連続の改善となった。一方全国でも同様の動きがみられ、同+4.9ポイントの57.9と2カ月ぶりに改善している。

関西の先行き判断DIは同-6.0ポイントの36.0と、前月(同-7.9ポイント)から引き続き悪化した。全国の先行き判断DIも同-5.3ポイントの40.0となり、いずれも4カ月連続で悪化。耐久消費財関連に限らず、幅広い業種で消費増税後の反動減の懸念が広がっている。

景気ウォッチャー調査(2014年3月まで)



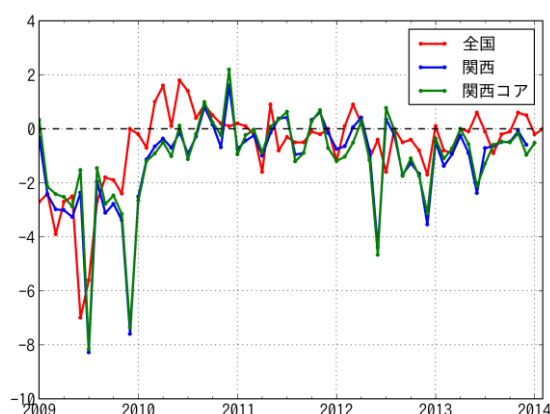
(出所) 内閣府(平成26年4月8日公表)

【所得・個人消費・住宅】

(1) 現金給与総額

12月の関西2府4県現金給与総額(APIR推計)は54万3,228円と前年同月比-0.6%減少した。18カ月連続のマイナス。滋賀、京都、奈良、和歌山では増加した一方で、ウェイトの大きい大阪(同-1.0%)、兵庫(同-2.9%)が減少した。京都・大阪・兵庫の加重平均をとった「関西コア」賃金指数(APIR推計)は12月の同-1.0%に続き、1月は同-0.5%となった。10カ月連続の下落。

現金給与総額(前年同月比：％、2013年2月まで)



(注) 関西・関西コア(京都、大阪、兵庫)はAPIR推計値。現金給与総額を当該常用労働者数(平成23年平均)で加重平均。

(出所)：厚生労働省「毎月勤労統計調査」(4月18日公表)

一方全国では、1月は同-0.2%のマイナス、2月は同0.0%と横ばい。(いずれも確報値)。

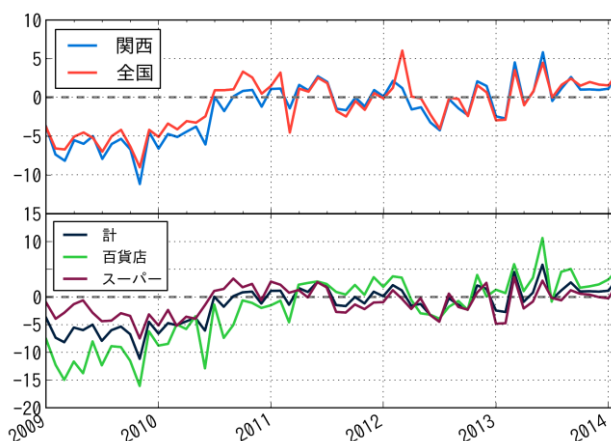
4月以降の賃金の回復が期待されるところであるが、消費者態度指数が示すように、消費者のセンチメントは弱いことから、消費増税の影響については楽観できない。

(2) 大型小売店販売額

関西の2月の大型小売店(百貨店+スーパー)の販売額(全店ベース)は、前年同月比+3.3%と7カ月連続のプラス。百貨店も同+5.0%と7カ月連続のプラス。スーパーは同+2.3%と3ヶ月ぶりのプラス。

なお全国でも、2月の大型小売店販売額(全店ベース)は同+2.4%と7カ月連続のプラスとなっている。

大型小売店販売額(前年同月比：％、2014年2月まで)



(注) 福井県を含む。

(出所) 経済産業省「商業動態統計」(平成26年3月28日公表)

(3) 新設住宅着工の動向

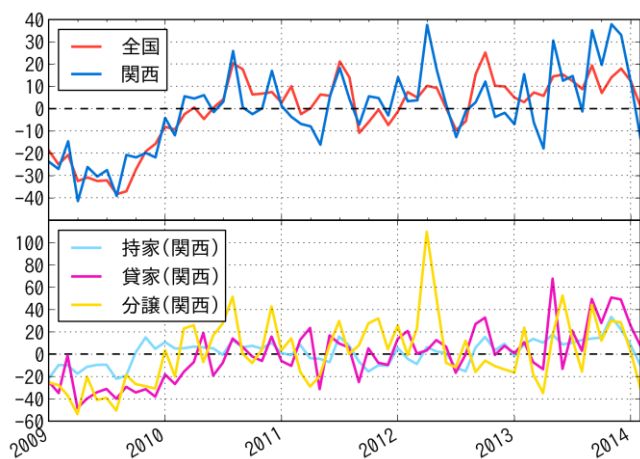
関西の2月の新設住宅着工戸数は9,592戸。前年同月比-13.3%と6カ月ぶりに下落し、駆け込み需要の反動が本格化している。

利用関係別にみると、持家は同-10.3%と13カ月ぶりのマイナス、分譲も同-31.0%と6カ月ぶりに大幅に下落した。一方貸家は同+7.3%と大幅に減速するも8カ月連続で前年比増が続いている。

全国の新設住宅着工戸数は18カ月連続の前年同月比プラスとなったものの、+1.0%の微増にとどまった。

一方、2月の関西マンション契約率(出所：不動産経済研究所)は80.6%(季節調整値、APIR 推計)。マンション市場は完成在庫を中心に好調を維持している。

新設住宅着工(前年同月比：％、2014年2月まで)



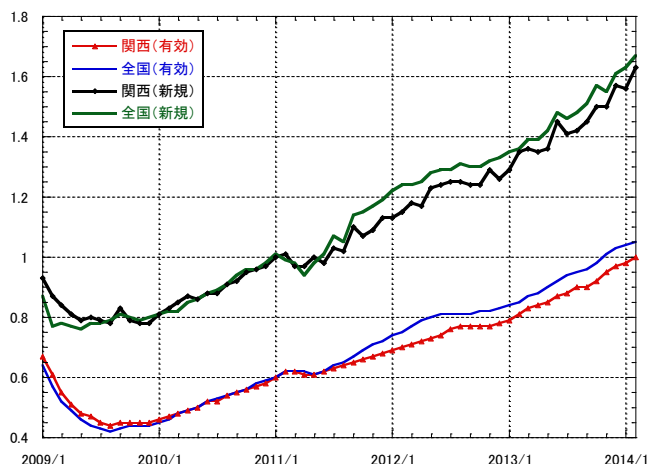
(出所)：国土交通省「住宅着工統計」(平成26年3月28日公表)

【雇用動向】

(1) 求人倍率の動向

2月の関西の有効求人倍率は1.00倍、前月から0.02ポイントの上昇。5カ月連続の改善となった。全国は1.05倍で、前月から0.01ポイント上昇。2011年5月から前月比で33カ月連続の上昇となった。

有効求人倍率の推移(季節調整値、2014年2月まで)



(出所) 厚生労働省「一般職業紹介状況」(平成26年3月28日発表)

関西2府4県有効求人倍率(2014年2月)

	全国	関西	滋賀県	京都府	大阪府	兵庫県	奈良県	和歌山県
2月	1.04	0.98	0.93	0.97	1.09	0.83	0.92	0.94
1月	1.05	1.00	0.94	0.98	1.10	0.86	0.93	0.94

2月の新規求人倍率は、関西は1.63倍と前月より0.07ポイント増加。全国は1.67倍と同0.04ポイントの増加となった。

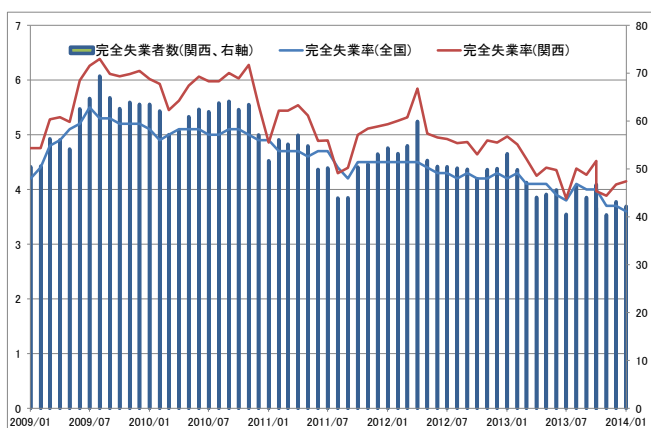
関西の有効求人倍率を府県別に見ると、大阪府は全国平均を上回り1.10となった。その他の府県は全国平均を下回った。

(2) 完全失業率の推移

2月の関西の完全失業率(季節調整値：APIR 推計)は4.1%となり、前月と横ばいであった。全国の完全失業率(季節調整値)は3.6%となり、前月から0.1ポイント低下している。

関西の完全失業者数(季節調整値：APIR 推計)は42.2万人。前月から1.0万人減少している。

完全失業率の推移(季節調整値、2014年2月まで)



(出所) 総務省「労働力調査」(平成26年3月28日発表)

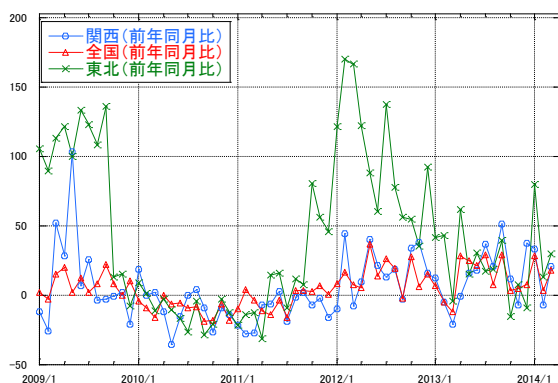
【公共投資】

(1) 公共工事請負金額

2014年3月の関西の公共工事請負金額は1,322億円。前年同月比+20.8%と2カ月ぶりのプラス。全国は1兆4,568億円と同+18.1%、12カ月連続のプラス。東北は3,175億円で同+30.1%と、3カ月連続のプラス。伸びはいずれも前月から回復した。

季節調整値(APIR 推計)で見ると、関西は3カ月連続の前月比マイナス(関西：同-17.1%)、全国も2カ月連続の同マイナス(全国：同-5.9%)であった。結果、1-3月期の関西の公共工事請負金額は前期比-17.3%の大幅減、全国は同+0.5%の微増にとどまった。

公共工事請負金額(前年同月比：％、2014年3月まで)

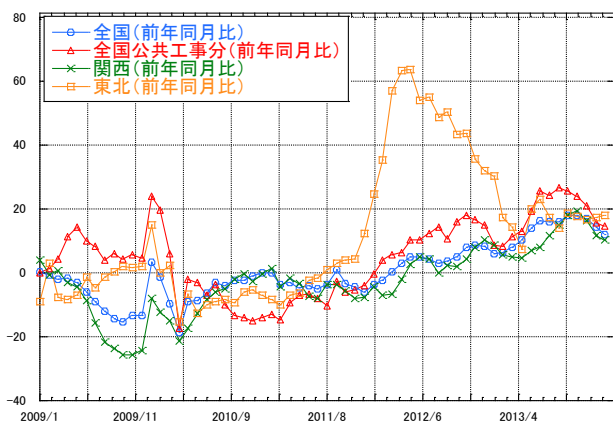


(出所) 「公共工事前払金保証統計」、東日本建設業保証株式会社

(2) 建設工事

関西2月の建設工事は5,853億円。前年同月比+10.5%と22カ月連続のプラス。関西の伸び率は依然2桁を維持しているものの11月をピークに3カ月連続で減速している。東北は5,465億円と同+18.2%と31カ月連続のプラス。なお同月の全国の建設工事は同+12.1%増加し4兆6,070億円となった。24カ月連続のプラスだが、伸びは4カ月連続で減速。全国的に建設工事は堅調に推移しているが、減速感がみられる。

建設工事(前年同月比：％、2014年1月まで)



(出所) 国土交通省「建設総合統計」

ちなみに全国の公共工事は2兆1,238億円、同+14.7%と25カ月連続のプラスだが、5カ月連続で伸びは減速。

【中国景気モニター】

(1) センチメント

製造業の購買担当者景況指数(PMI)は、2014年3月に50.3となり前月より+0.1ポイントとなり、4カ月ぶりの小幅の上昇となった。うち、生産指数は52.7となり、前月(52.6)より+0.1ポイントと上昇し、4カ月ぶりの改善となった、輸出新規受注指数は50.1となり、前月(48.2)より1.9ポイントと大幅に上昇し、4カ月ぶりに50を上回さらに、新規受注指数は50.6となり、前月(50.5)より0.1ポイントと上昇した(2カ月ぶりの好転)。また、3月の雇用指数は48.3となり、前月(48.0)から0.3ポイント上昇したものの、2012年6月以来、22カ月連続で50を下回っている。

3月の製造業PMI指標の改善は、中国の春節の影響が解消し、労働需要が幾分増加したものと思われる。

中国製造業購買担当者景況指数 (2014年3月まで：％)



出所：中国国家统计局; CEIC データベース

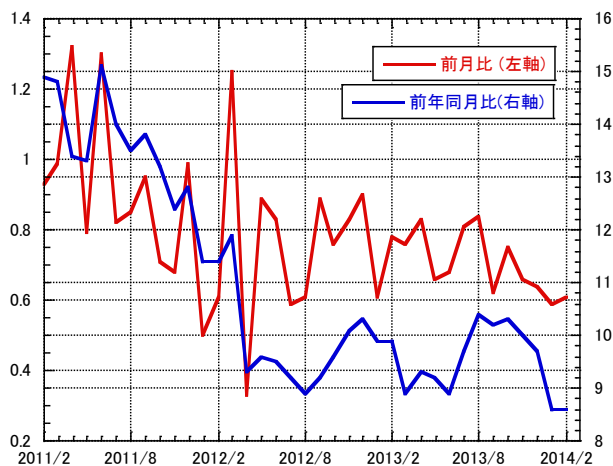
(2) 工業生産

3月の工業生産は、前月より+0.8%増加となった、3カ月連続で加速した。前年同月比でみれば、3月は+8.8%と前月(+8.6%)より幾分拡大し、2カ月ぶりに加速した。

産業別に見ると、3月はパソコン・通信製造業(同+15.3%)、医薬製品製造業(同+12.6%)、自動車製造業(同+11.7%)、化学

原料・製品製造業(同+11.5%) が高い伸びを示す一方、鉄鋼などの製錬・圧延加工業(同+7.9%)、繊維工業 (同+6.1%)、電力・熱力生産・供給業(同+4.1%)の伸びは比較的低調であった。

工業生産指数(2014年3月まで：%)

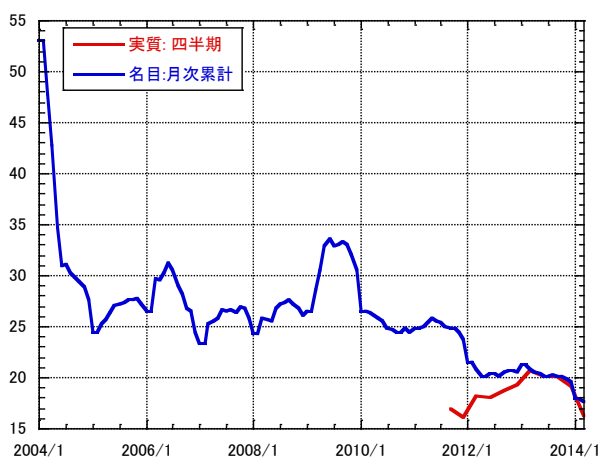


出所：中国国家统计局; CEIC データベース

(3) 固定資産投資

3月における(累積)固定資産投資(名目)は前年同期比+17.6%となり、1-2月(同+17.9%)より幾分減速した。昨年1-8月期(+20.3%)をピークとし、減速傾向が見られる。産業別の伸びを見れば、第1次産業は同+25.8%、第2次産業は同+14.7%、第3次産業は同+19.6%となった。

固定資産投資 (2014年3月まで：%) (累積伸び率)



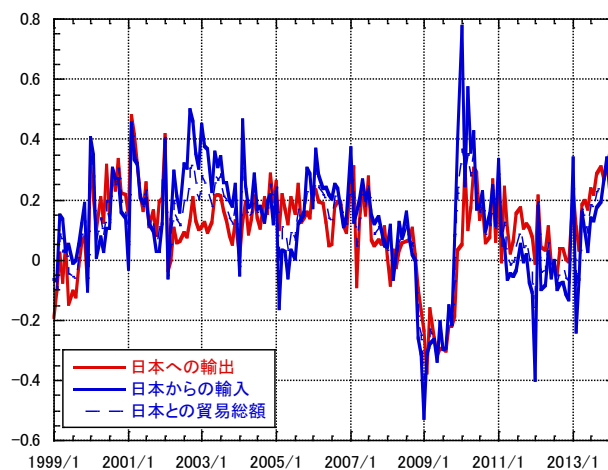
出所：中国国家统计局; CEIC データベース

(4) 貿易動向

中国の輸出額(速報値、ドル・ベース)は3月に前年同月比-6.6%減少し、2ヵ月連続のマイナスとなった。一方、輸入額も同-11.3%(速報値)となり、8ヵ月ぶりのマイナス。

うち日本への輸出額は同+11.0%となり、前月(同-11.0%、確定値)からプラスに転じた。一方、日本からの輸入額は同-0.6%となり、5ヵ月ぶりのマイナス。伸びは前月(同+9.2%)から大幅な減速した。円ベースに換算すると、日本への輸出額は同+19.8%(前月-2.5%)と大幅なプラスになった。日本からの輸入額は同+7.2%(前月+19.7%)と12ヵ月連続のプラスとなった。

日本との貿易 (前年同月比; 円ベース) (2014年3月まで：%)



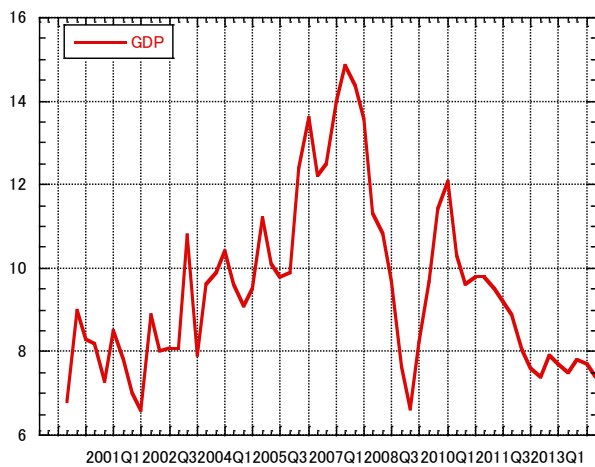
出所：中国税関; CEIC データベース; APIR 計算

(5) GDP

2014年1-3月期の実質GDP成長率は前年同期比+7.4%となった。前期の同+7.7%と比べて幾分減速し、8%を下回る成長率が8期続いている。

業種別にみると、第1次産業の成長率は同+3.5%、第2次産業は同+7.3%、第3次産業は同+7.8%となった。

実質 GDP 成長率 (2013 年第 4 四半期まで; 前年度同期比 : %)



出所 : 中国国家统计局; CEIC データベース

Contact : 岡野光洋・林万平・木下祐輔

Tel. 06-6485-7695,

E-mail. contact@apir.or.jp

【主要月次統計】

月次統計	13/03M	13/04M	13/05M	13/06M	13/07M	13/08M	13/09M	13/10M	13/11M	13/12M	14/01M	14/02M	14/03M
景 況 感													
[関西]景気ウォッチャー調査(現状DI、合計)	61.3	59.6	58.7	54.9	53.2	51.4	54.6	52.8	55.8	56.1	55.6	56.3	60.8
[関西]景気ウォッチャー調査(現状DI、家計)	62.6	59.6	58.8	55.0	52.0	48.8	53.0	50.4	54.6	54.1	53.7	53.4	60.1
[関西]景気ウォッチャー調査(先行き、合計)	60.7	59.6	58.1	53.5	52.9	52.3	55.9	57.7	58.5	57.3	49.9	42.0	36.0
[全国]景気ウォッチャー調査(現状DI、合計)	57.3	56.5	55.7	53.0	52.3	51.2	52.8	51.8	53.5	55.7	54.7	53.0	57.9
[全国]景気ウォッチャー調査(現状DI、家計)	56.9	55.5	54.4	52.2	50.6	49.3	50.6	49.2	51.3	53.1	52.2	50.2	57.0
[全国]景気ウォッチャー調査(先行き、合計)	57.5	57.8	56.2	53.6	53.6	51.2	54.2	54.5	54.8	54.7	49.0	40.0	34.7
消費者心理・小売り													
[関西]消費者態度指数(原数値)	43.9	43.9	46.0	44.5	43.3	43.4	45.2	40.6	41.0	40.3	39.9	37.6	36.8
[関西]「暮らし向き(原数値)	42.0	40.8	43.5	42.8	41.5	40.8	42.4	38.1	38.7	37.6	37.2	34.7	34.1
[関西]「収入の増え方(原数値)	40.7	40.2	42.7	41.3	40.4	40.3	41.2	37.6	38.4	38.0	37.3	36.5	37.0
[関西]「雇用環境(原数値)	47.1	48.7	50.9	47.6	47.3	47.6	51.1	45.1	46.1	46.5	48.6	46.3	45.3
[関西]「耐久消費財の買い時判断(原数値)	45.9	46.0	46.8	46.4	44.0	44.9	46.2	41.6	40.7	39.2	36.7	33.0	31.0
[全国]消費者態度指数(季節調整値)	44.8	44.5	45.4	44.3	43.5	43.1	45.4	41.4	42.4	41.3	40.3	38.5	37.5
[関西]乗用車新規登録届出数(前年同月比%)	-13.8	4.7	-6.3	-10.6	-10.0	-0.5	14.0	17.9	16.2	24.6	28.2	UN	UN
[関西]家電販売額(前年同月比%)	-3.2	-8.9	-0.5	12.6	-13.8	4.6	-4.8	3.3	5.8	-1.3	10.8	UN	UN
[関西]大型小売店販売額(10億円)	316.7	297.4	303.7	317.2	333.5	303.7	289.4	305.0	329.6	415.9	333.3	286.5	UN
[関西]大型小売店販売額(前年同月比%、全店)	4.5	-0.9	0.8	5.8	-0.4	1.2	2.7	1.0	1.1	1.0	1.1	3.3	UN
[全国]大型小売店販売額(10億円)	1659.8	1550.9	1588.9	1638.5	1712.7	1582.3	1506.0	1586.0	1696.3	2139.9	1713.5	1468.6	UN
[全国]大型小売店販売額(前年同月比%、全店)	3.5	-1.0	0.9	4.5	-0.7	0.9	1.7	0.8	1.2	0.9	0.8	2.4	UN
住 宅 ・ 建 設													
[関西]新設住宅着工(戸数)	10895.0	10626.0	12403.0	12215.0	12622.0	11537.0	13606.0	14873.0	13938.0	14737.0	11299.0	9592.0	UN
[関西]新設住宅着工(前年同月比%)	-6.2	-17.8	30.6	12.6	14.7	-1.2	35.2	19.7	37.9	33.1	11.7	-13.3	UN
[全国]新設住宅着工(戸数)	71456.0	77894.0	79751.0	83704.0	84801.0	84343.0	88539.0	90226.0	91475.0	89578.0	77843.0	69689.0	UN
[全国]新設住宅着工(前年同月比%)	7.3	5.8	14.5	15.3	12.4	8.8	19.4	7.1	14.1	18.0	12.3	1.0	UN
[関西]マンション契約率(季節調整値)	81.5	78.4	78.4	76.8	83.2	79.6	83.1	78.3	79.2	71.7	72.1	80.6	75.9
[関西]マンション契約率(原数値)	83.6	79.8	82.3	80.7	87.0	81.1	80.5	79.6	76.0	69.9	65.2	77.4	77.8
[全国]マンション契約率(季節調整値)	77.6	75.8	77.3	78.2	81.9	84.7	83.5	82.4	79.4	75.0	84.2	81.8	75.4
[全国]マンション契約率(原数値)	82.1	78.2	78.1	81.6	81.6	81.5	83.5	79.6	79.6	76.1	78.6	80.6	79.8
[関西]公共工事前払保証額(10億円)	130.5	178.2	143.2	150.6	146.6	119.1	167.5	135.7	111.2	112.6	94.3	78.9	UN
[関西]公共工事前払保証額(前年同月比%)	-14.1	4.2	16.0	17.8	37.2	20.8	51.4	12.2	-7.0	37.8	33.2	-6.8	UN
[全国]公共工事前払保証額(10億円)	1233.8	1599.1	1084.2	1386.8	1572.5	1226.7	1523.5	1420.5	941.6	886.0	777.6	695.9	UN
[全国]公共工事前払保証額(前年同月比%)	-11.7	28.6	24.8	21.7	29.4	7.9	29.4	3.5	4.9	7.5	28.8	3.7	UN
[関西]建設工事(総合、10億円)	547.4	448.6	426.1	443.6	453.3	483.0	521.8	540.2	569.5	595.0	592.7	585.3	UN
[関西]建設工事(総合、前年同月比%)	5.0	5.0	4.8	7.2	8.2	11.7	15.0	18.1	19.3	16.4	11.6	10.5	UN
[全国]建設工事(総合、10億円)	4106.2	3293.9	3312.3	3536.3	3721.3	3981.3	4319.8	4549.6	4779.7	4920.2	4672.1	4607.0	UN
[全国]建設工事(総合、前年同月比%)	6.3	7.9	10.3	14.2	16.5	16.1	16.2	18.1	17.9	16.9	14.3	12.1	UN
[関西]建設工事(公共工事、10億円)	1867.1	1256.4	1189.8	1289.5	1397.5	1567.3	1811.8	1997.6	2171.5	2259.8	2111.5	2123.8	UN
[全国]建設工事(公共工事、前年同月比%)	8.3	11.3	12.9	19.3	25.8	24.3	26.7	25.6	24.2	20.9	15.7	14.7	UN
生 産													
[関西]鉱工業生産(季節調整値、05年=100)	101.3	100.6	103.0	99.5	102.2	102.7	102.9	104.1	102.7	103.9	106.0	UN	UN
[関西]鉱工業生産(季節調整値、前月比)	1.9	-0.7	2.4	-3.4	2.7	0.5	0.2	1.2	-1.3	1.2	2.0	UN	UN
[関西]「出荷指数(原数値、前年同月比%)	-4.5	-0.2	0.2	-2.9	4.6	-0.6	0.1	1.2	1.0	5.1	97.4	UN	UN
[関西]「在庫指数(原数値、前年同月比%)	-4.3	-3.5	-3.1	-4.3	0.3	-0.9	-0.8	1.2	-0.4	3.3	6.0	UN	UN
[関西]「出荷指数(季節調整値、05年=100)	100.1	100.3	101.9	99.2	102.2	101.1	100.6	101.8	102.8	103.1	106.6	UN	UN
[関西]「出荷指数(季節調整値、前月比)	-0.9	0.2	1.6	-2.6	3.0	-1.1	-0.5	1.2	1.0	0.3	3.4	UN	UN
[関西]「在庫指数(季節調整値、05年=100)	111.7	112.0	110.9	110.9	113.2	111.7	112.6	114.1	112.7	115.3	115.6	UN	UN
[関西]「在庫指数(季節調整値、前月比)	0.4	0.3	-1.0	0.0	2.1	-1.3	0.8	1.3	-1.2	2.3	0.1	UN	UN
[全国]鉱工業生産(季節調整値、10年=100)	95.0	95.9	97.7	94.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	103.9	UN	UN
[全国]鉱工業生産(季節調整値、前月比)	0.1	0.9	1.9	-3.1	3.4	-0.9	1.3	1.0	-0.2	0.5	3.9	UN	UN
[全国]「出荷指数(原数値、前年同月比%)	-5.9	-3.0	-2.1	-5.1	1.4	-1.3	4.6	5.7	6.6	6.3	9.0	UN	UN
[全国]「在庫指数(原数値、前年同月比%)	-2.7	-4.0	-2.7	-2.9	-2.8	-3.3	-3.5	-4.0	-5.1	-4.3	-3.7	UN	UN
[全国]「出荷指数(季節調整値、10年=100)	97.2	95.8	96.8	93.7	95.6	95.5	96.9	99.1	99.1	99.9	105.0	UN	UN
[全国]「出荷指数(季節調整値、前月比)	-0.8	-1.4	1.0	-3.2	2.0	-0.1	1.5	2.3	0.0	0.8	5.1	UN	UN
[全国]「在庫指数(季節調整値、10年=100)	106.6	107.4	107.0	107.0	108.7	108.5	108.3	108.0	106.1	105.6	104.6	UN	UN
[全国]「在庫指数(季節調整値、前月比)	-0.7	0.8	-0.4	0.0	1.6	-0.2	-0.2	-0.3	-1.8	-0.5	-0.9	UN	UN
労 働													
[関西]現金給与総額(2府4県、前年同月比%)	-0.9	-0.3	-0.9	-2.4	-0.7	-0.6	-0.5	-0.5	-0.1	-0.6	UN	UN	UN
[関西]現金給与総額(2府1県、前年同月比%)	-0.7	0.0	-0.6	-2.1	-1.3	-0.6	-0.5	-0.5	-0.2	-1.0	-0.5	UN	UN
[全国]現金給与総額(前年同月比%)	-0.9	0.0	-0.1	0.6	-0.1	-0.9	-0.2	-0.1	0.6	0.5	-0.2	0.0	UN
[関西]完全失業率(季節調整値)	4.7	4.2	4.4	4.2	3.8	4.3	4.1	4.6	3.9	3.9	4.1	4.1	UN
[関西]完全失業率(原数値)	4.9	4.3	4.4	4.1	3.8	4.4	4.1	4.7	3.9	3.6	4.2	4.3	UN
[全国]完全失業率(季節調整値)	4.1	4.1	4.1	3.9	3.8	4.1	4.0	4.0	4.0	3.7	3.7	3.6	UN
[関西]新規求人倍率(季節調整値)	1.37	1.37	1.37	1.46	1.41	1.41	1.42	1.51	1.48	1.58	1.56	1.63	UN
[全国]新規求人倍率(季節調整値)	1.39	1.40	1.42	1.49	1.46	1.47	1.50	1.59	1.56	1.64	1.63	1.67	UN
[関西]有効求人倍率(季節調整値)	0.83	0.85	0.86	0.88	0.89	0.90	0.89	0.91	0.94	0.96	0.98	1.00	UN
[全国]有効求人倍率(季節調整値)	0.86	0.89	0.90	0.92	0.94	0.95	0.95	0.98	1.00	1.03	1.04	1.05	UN
国 際 貿 易													
[関西]純輸出(10億円)	92.9	-78.0	-42.8	118.4	-123.2	7.1	-34.3	-112.4	-106.0	-77.0	-460.6	53.0	UN
[関西]輸出(10億円)	1311.3	1209.1	1216.6	1270.0	1242.8	1256.9	1254.4	1284.7	1242.3	1308.4	1087.7	1212.6	UN
[関西]輸出(前年同月比%)	2.2	4.1	11.1	7.9	10.6	15.7	5.3	14.3	15.6	10.6	10.3	15.0	UN
[関西]輸入(10億円)	1218.4	1287.2	1259.4	1151.6	1366.0	1249.8	1288.7	1397.0	1348.3	1385.4	1548.3	1159.6	UN
[関西]輸入(前年同月比%)	2.4	10.0	8.2	7.2	19.9	11.4	15.9	23.9	12.2	22.6	26.5	7.5	UN

注1：鉱工業生産 輸送機械工業は銅鉛・鉄道車両除く。

Release Calendar for APIR Monthly

Monday	Tuesday	Wednesday	Thursday	Friday
31-Mar	1-Apr 中国製造業 PMI (3 月) 毎月勤労統計 (2 月：速報値)	2-Apr	3-Apr	4-Apr
7-Apr	8-Apr 景気ウォッチャー調査 (3 月)	9-Apr	10-Apr 近畿鉱工業生産指数 (2 月速報) 中国輸出入 (3 月：速報値)	11-Apr
14-Apr 商業動態調査 (2 月確報)	15-Apr マンション契約率 (3 月) 公共工事前払保証額 統計 (3 月)	16-Apr 全国鉱工業生産指数 (2 月確報) 中国工業生産(3 月) 中国固定資産投資 (3 月) 中国消費小売総額 (3 月)	17-Apr 消費動向調査(3 月) 建設総合統計 (2 月) 1-3 月期中国 GDP	18-Apr 毎月勤労統計 (2 月：確報値)
21-Apr 近畿貿易統計 (3 月速報) 全国貿易統計 (3 月速報)	22-Apr	23-Apr	24-Apr 近畿鉱工業生産指数 (2 月確報)	25-Apr
28-Apr 商業動態調査 (3 月速報) 近畿貿易統計 (3 月確速) 全国貿易統計 (3 月確速)	29-Apr	30-Apr 新設住宅着工(3 月) 全国鉱工業生産指数 (3 月速報)	1-May	2 May 求人倍率(3 月) 完全失業率(3 月)